

国際力動的心理療法学会 第 22 回年次大会参加申込書

ふりがな				<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生 *該当するものに○印
氏名		歳	男・女	
職種 *該当に○印	<input type="checkbox"/> 臨床心理士、 <input type="checkbox"/> 臨床発達心理士、 <input type="checkbox"/> 看護師、 <input type="checkbox"/> 医師、 <input type="checkbox"/> 教師、 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー、 <input type="checkbox"/> 保育士、 <input type="checkbox"/> 大学生・大学院生、 <input type="checkbox"/> その他()			
連絡先	〒 TEL(&FAX) E-mail			
所属先	名称			
	所属・職名			
	所在地	〒 TEL(&FAX)		

◆ワークショップ（専門家向けワークショップ&アゴラ）、訓練ワークショップについて

2日目のワークショップ（専門家向けワークショップ&アゴラ）、3日目の訓練ワークショップには定員がございます。参加をご希望されるプログラムの空欄に第3希望まで、①～③とご記入ください。ご参加いただけるプログラムは、受付締め切り後にメールにて（ご希望の場合は郵送にて）ご連絡いたします。

[2日目：11月4日（金）]

●ワークショップ 「現代の危機と向き合う」 12:30～16:15 （第3希望までご記入ください）

	タイトル	①～③を記入
1	現代社会の危機と向き合う（専門家向け） 宇佐美 しおり、小谷 英文	
2	災害急性期から中期の子どものアセスメントと介入（専門家向け） 足立 智昭	
3	うずくまった虎、潜む龍、集団精神療法における青年との作業（専門家向け） セス・アロンソン	
4	応答構成入門（専門家向け） 能 幸夫、伊藤 裕子、橋本 麻耶	
5	アゴラ（専門家&市民向け） 橋本 和典、梶谷 真司、高田 毅	

[3日目：11月5日（土）]

●事例研究発表 9：30－11：30

事例研究発表を目的として、1領域3名、5領域15名の発表者を募集します。希望される発表テーマを下記から選んでください。ご発表される領域は、学会事務局で決定致します。

事例研究発表をご希望される方には発表要旨要綱を郵送またはメールでお送り致します。8月31日（水）までに発表要旨をお送り頂き、査読を行った上で、9月9日（金）までに発表の可否をお伝えします。詳細については公式パンフレットをご参照ください。

1) 事例研究発表のご希望につき、以下の「希望する」「希望しない」のいずれかに○印をお付け下さい。

希望する／希望しない

2) 以下のうち、希望される発表テーマに○印を1つお付けください。

- () 幼児、() 児童、() 思春期、() 青年期、() 学生相談、
() リサーチ、() 哲学、() 発達、() アイデンティティ、
() 精神看護、() 力動的看護面接、() セルフケア、
() 病院臨床、() 精神病、() 人格障害、() トラウマ、() PTSD、
() その他 ()

●訓練ワークショップ 12：45－15：45

(第3希望までご記入ください)

	タイトル	①～③を記入
1	子どもの心理療法 ラルフ・モーラ	
2	中国老荘思想の危機介入 李 江波、劉 曉濱、石井 剛	
3	キャンパスにおける危機介入 橋本 和典、李 樺	
4	精神病の集団精神療法 吉松 和哉	
5	現代の青年期危機を考える 牛島 定信	
6	危機介入ワークショップ 小谷 英文	

◆懇親会 19：00－21：00

懇親会への参加の有無について、以下の「参加する」「参加しない」のいずれかに○印をお付け下さい。

参加する／参加しない

[4日目：11月6日（日）]

●事例スーパービジョン 10：00－12：00

事例発表を希望される方は、以下の表のうち、希望する箇所に○印を1つお付けください。

事例発表をご希望される方には、発表要旨要綱を郵送またはメールでお送り致します。8月31日（水）までに発表要旨をお送り頂き、査読を行った上で、9月9日（金）までに発表の可否をお伝えします。詳細については公式パンフレットをご参照ください。

1) 事例発表のご希望につき、以下の「希望する」「希望しない」のいずれかに○印をお付け下さい。

希望する／希望しない

2) 以下のうち、希望されるスーパービジョンに○印を1つお付けください。

	タイトル	希望箇所に○
1	吉松和哉によるスーパービジョン「集団精神療法・精神病の事例」	
2	牛島定信によるスーパービジョン「思春期・青年期・人格障害の事例」	
3	ラルフ・モーラによるスーパービジョン「子どもの虐待・PTSD の事例」	
4	セス・アロンソンによるスーパービジョン「思春期・青年期の事例」	
5	能 幸夫によるスーパービジョン「病院臨床・リエゾンの事例」	
6	橋本和典によるスーパービジョン「困難患者の事例」	

◆郵送によるご連絡を希望される方

今後、学会からのご連絡はメールにてさせていただきます。メールによるご連絡に不都合のある方は、以下の「希望する」に○印をお付けくだされば、郵送にてご連絡致します。

郵送を希望する／希望しない

国際力動的心理療法学会第22回年次大会事務局
PAS 心理教育研究所内
〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9
Tel&Fax : 03-6407-8201
E-mail : iadp@iadp.info